

# 在宅医療について

ひじり在宅クリニック  
院長 岡本拓也



社会医療法人  
慈恵会  ひじり在宅クリニック

# 本日のメッセージ

- 通院が困難になった場合は訪問診療を利用できる
- 希望すれば、最後まで自宅ですごすことができる
- 病院で行うたいていの治療やケアは在宅でも可能



入院・外来通院以外の「**選択肢**」が一つ増えた

# 医療の2本柱



医療の 3 本柱



# 在宅医療

継続的な診療が必要で、自力での通院が難しくなった患者が、利用できる。

医師、看護師、薬剤師等が連携し、退院の支援から日常の療養支援、急変時の対応、みとりまでを担う。

医師が、計画して月に何回か患者が住んでいる自宅や施設に向いて行う診療（訪問診療）が基本で、必要時には緊急訪問にも伺い（往診）、24時間体制で在宅療養をサポートする。

**訪問診療：計画的な診療**

**往診：患者の要請による臨時の診療**



# 胃瘻栄養

---







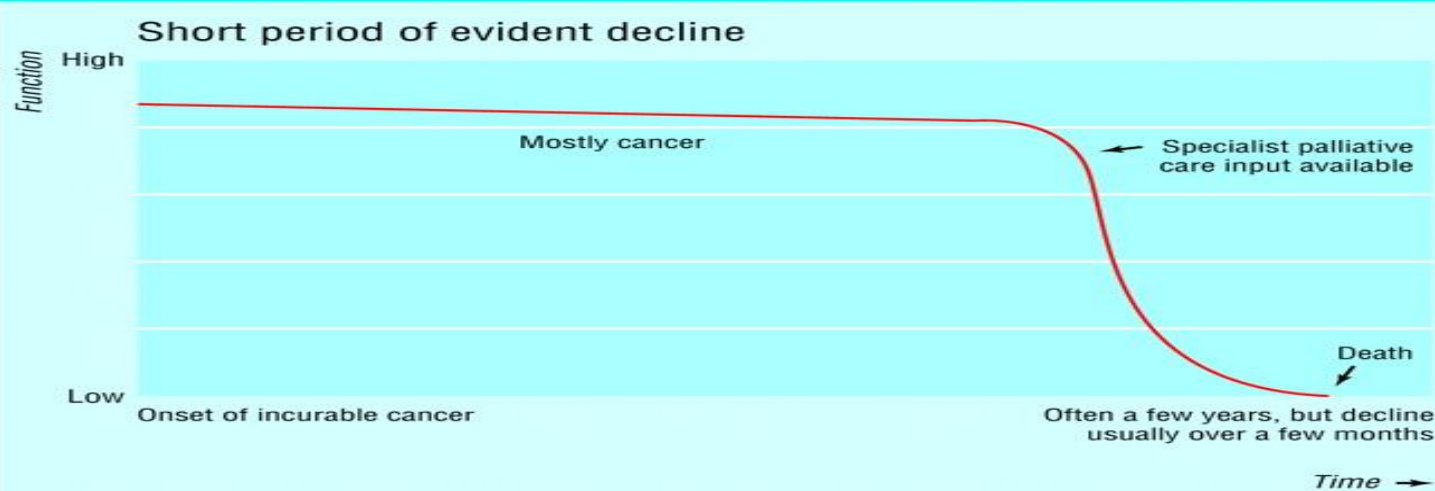


## 中心静脈栄養

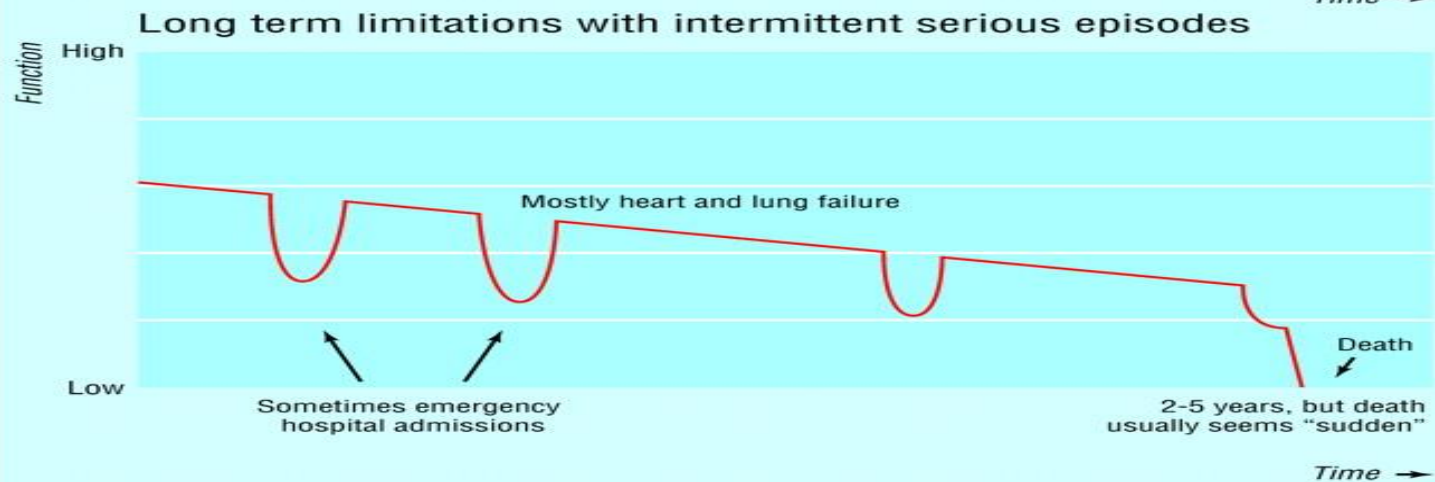
水分と栄養の点滴

痛み止め等の薬剤  
持続的に鎮痛剤等を注入し  
痛い時等に自分でボタンを  
押して薬を早送りする

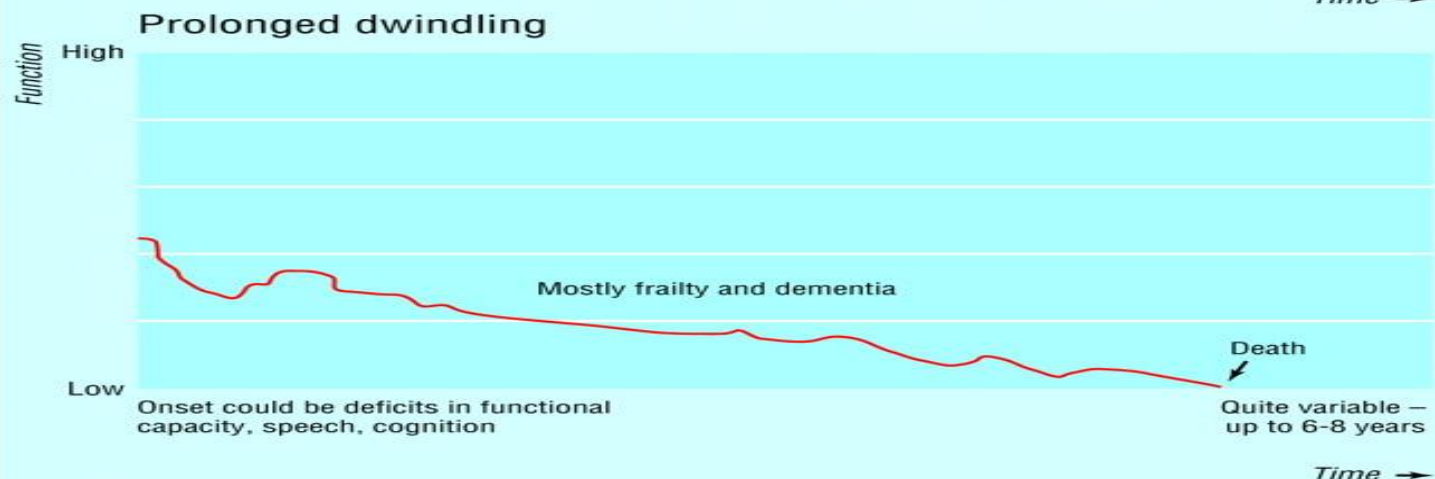
癌など悪性疾患



心不全や腎不全  
など臓器不全



認知症や老衰



疾患や病状の違いにより、  
どのような経過を辿るかは異なる。



(快適な) 生活を支える

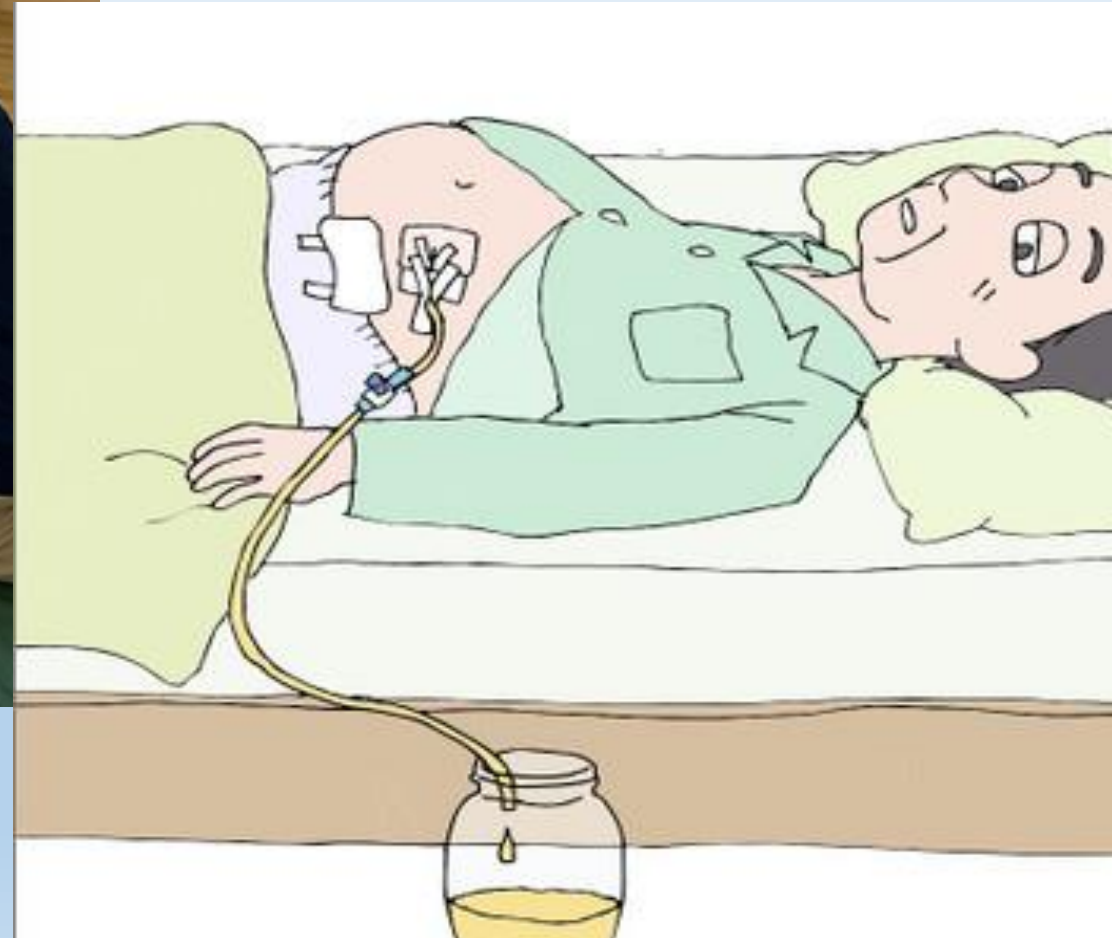
診察、処方、点滴、胸・腹水穿刺  
などの医療行為



たいていのことは在宅でできる！



入浴、掃除、料理、  
買い物などの  
介護サービス



医療ニーズを満たす

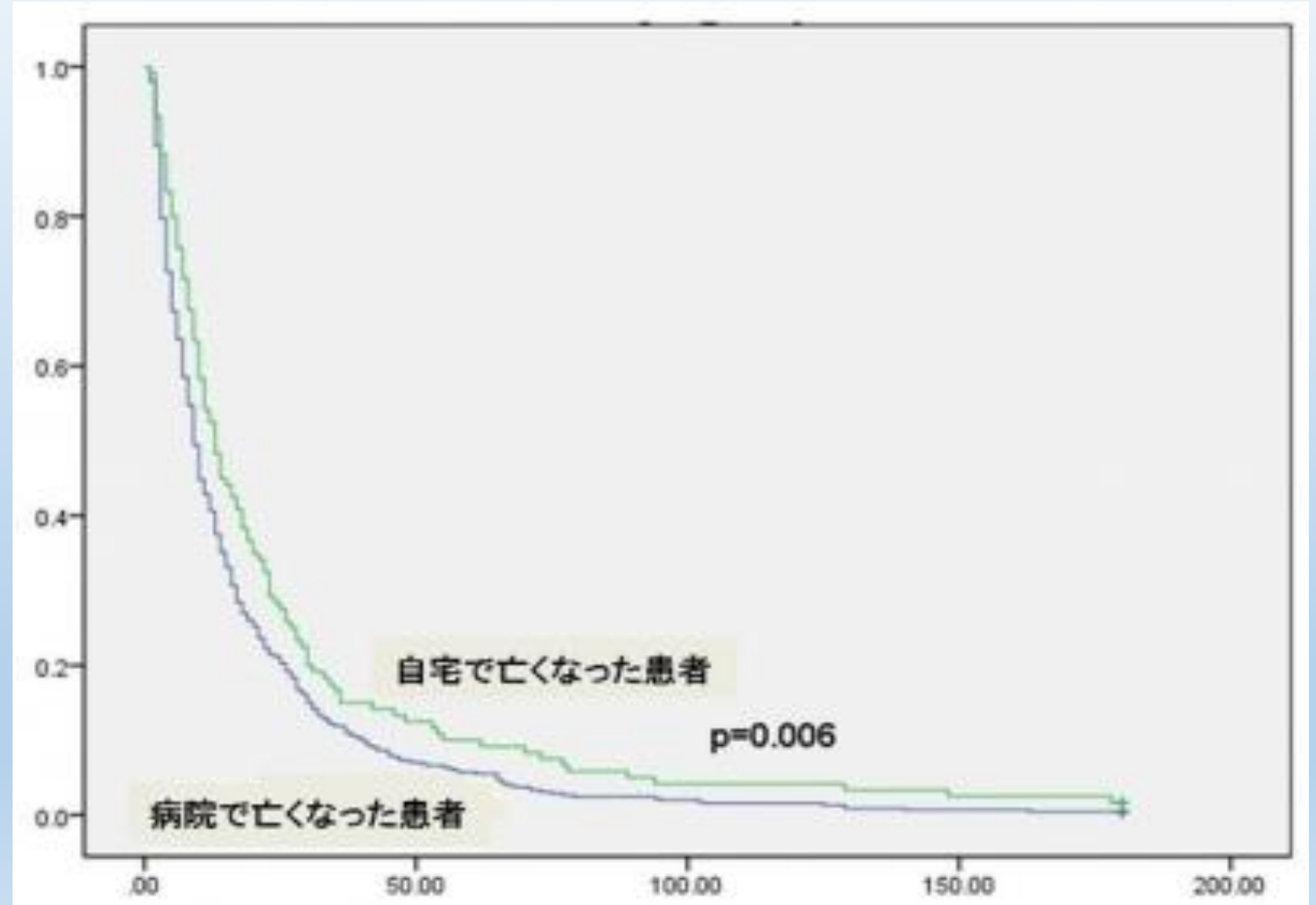
- 医療が穏やかな死を邪魔しないこと（終末期の過剰な医療は穏やかな最期を妨げてしまう）
- 大事にしたいことや希望する生き方を医療者と一緒に率直に話し合うことが大切
- 住み慣れた環境は生きる力と安心感を与える



# 病院にいた方が長く生きられるか？

在宅死は  
病院死と比べ  
生存期間は  
変わらない、  
もしくは長い。

Multicenter cohort study  
on the survival time of  
cancer patients dying at  
home or in a hospital:  
Does place matter?  
(Hamano J et al. Cancer  
2016;122:1453-60)



# 在宅医療を支える制度

- 医療保険
  - 高額療養費制度
- 介護保険
  - がん末期の場合には40歳から利用可
- 社会福祉
  - 障害年金
  - 身体障害者手帳の交付
  - 身体機能に障害が生じた場合に申請可能

# 在宅医療を支える制度

- 医療保険

## 高額療養費制度

- 介護保険

がん末期の場合には40歳から利用可

- 社会福祉

障害年金

身体障害者手帳の交付

身体機能に障害が生じた場合に申請可能

## 【高額療養費制度：1カ月の負担限度額】

	外来・在宅	入院
一般	18,000円	57,600円
低2	8,000円	24,600円
低1	8,000円	15,000円

入院の場合、さらに以下のお金が必要

<b>食事代＋居住費</b>	<b>一般：50,000円前後</b>
	<b>低2：30,000円前後</b>
	<b>低1：20,000円前後</b>



	負担割	適用区分	〇月分	内容
90代女性	1割	一般	6240円	訪問診療 2回
90代女性	1割	低2	<u>8000円</u> 高額療養費上限	訪問診療 2回 + 夜間往診 1回
100代女性	1割	低2	6820円	訪問診療 2回 + 整形外科外来通院 2回
70代男性	1割	低2	<u>8000円</u> 高額療養費上限	訪問診療 2回 (内 1回は胃瘻ボタン交換)
80代男性	1割	一般	9740円	訪問診療 3回 (内 1回は胃瘻ボタン交換)
80代女性	1割	一般	3580円	訪問診療 1回
80代女性	1割	低2	3880円	訪問診療 1回

施設入居を決める際に  
確認した方がいっしょと



希望すれば、最後までそこで生活させて  
もらえるかどうか

# 本日のメッセージ

- 通院が困難になった場合は訪問診療を利用できる
- 希望すれば、最後まで自宅ですごすことができる
- 病院で行うたいていの治療やケアは在宅でも可能



入院・外来通院以外の**選択肢が一つ増えた**

**ご清聴**  
**ありがとうございました。**

**心の通い合う良質なケアの提供を通して  
安心して最期まで住みたい場所に住むことができる  
そんな地域を一緒に創って参りましょう！**